

第63期 株主通信 2023年4月1日~2024年3月31日

SHIMA SEIKI REPORT

[特集]

新中期経営計画
「Ever Onward 2026」

[株主のみなさまへ]

創造と革新こそ、原点。
人と地球の未来のためにあらゆる課題に挑戦し、
世の中になくってはならない企業を目指します。

[TOPICS]

海外展示会「ITMA ASIA+CITME」(中国・上海)

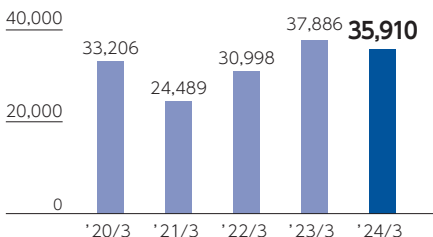
国内展示会「ASM OSAKA」(大阪)



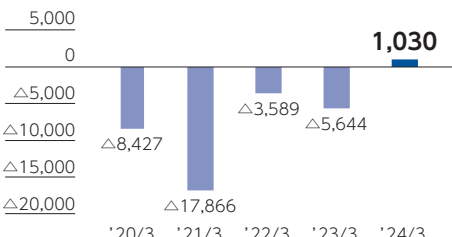
決算ハイライト

売上高

(百万円)

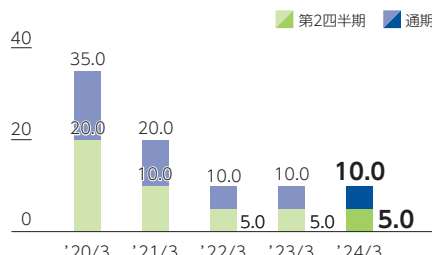


親会社株主に帰属する当期純利益・損失(△) (百万円)



1株当たり配当金

(円)





株主のみなさまへ

新中期経営計画「Ever Onward 2026」始動

創造と革新こそ、原点。

人と地球の未来のためにあらゆる課題に挑戦し、世の中になくってはならない企業を目指します。

代表取締役社長 島 三博

当期の総括

当期(2024年3月期)は、コロナ禍によるアパレル業界全体の低迷期を脱し、マーケットが活発化することが期待されましたが、ロシア・ウクライナ情勢に伴う原材料・エネルギー価格高騰、インフレ抑制に向けた欧米の金融引き締めや中国の景気減速など、世界経済は不透明な状況が続きました。そのような背景のなか、当社では中期経営計画「Ever Onward 2023」に基づき、ホールゲーム®横編機の拡販、ソリューションビジネスの拡大など、サステナブルなモノづくりを支援する製品・サービスの提案活動を世界各地で展開しました。

当社の主力である横編機事業は、中国・香港市場においては景気回復の遅れから内需向けの設備投資が低調でしたが、香港系大手顧客による次世代型ホールゲーム®横編機の新規投資や、ベトナムをはじめとする東南アジアの生産拠点に向けた設備投資が活発となり、主力機種の販売が増加しました。イタリア市場では、有名ブランドの自社商品開発の動きに伴う設備投資などによりホールゲーム®横編機の販売が伸びました。一方、暖冬の影響により、中東市場における売上が減少しました。国内市場では生産性向上を目的とした需要により、ホールゲーム®横編機を中心に売上が伸びました。

デザインシステム関連事業では、「SDS®-ONE APEX」ソフトウェアのサブスクリプションサービス「APEXFiz®」が予測困難な時代のアパレル製品製作の現場で真価を発揮し、欧米・国内大手アパレルを中心にライセンス契約数が新規・更新ともに伸びています。また裁断機事業においては、自動裁断機「P-CAM®」が国内を中心に販売が増加しました。また、新機軸としてリリースした次世代自動裁断機「P-CAM® R」は、高精細な裁断性能が世界トップレベルと評価されています。

これらの結果、連結売上高は359億10百万円(前期比5.2%減)となりました。利益面では、売上総利益率の改善、販売費及び一般管理費の抑制により、営業利益は4億30百万円(前期は営業損失21億84百万円)、経常利益は10億18百万円(前期は経常損失17億0百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は10億30百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失56億44百万円)となり、黒字計上を達成できました。

新中期経営計画が始動

当社グループは、2024年度から始まる3か年の新中期経営計画「Ever Onward 2026」を策定しました。新中期経営計画では、さらなる発展のために企業理念を再定義し、フィロソフィーを明確化させています。また、10年後の目指す姿に向け、重点施策、方針を設定しました。数値目標としては、売上高550億円、営業利益70億円、経常利益75億円、当期純利益55億円、ROE6.0%以上とすることを定めています。

この目標達成のために、4つの重点施策を実行します。まず収益の安定化と事業の成長に向けた抜本的な改革に着手します。社内体制と業務プロセスの刷新を断行し、持続的な企業成長に向けた経営基盤の再構築を進めます。続いてソリューションビジネス事業では、デザインシステムと横編機を含めたトータルファッションシステム®を、当社の強みとしてさらに打ち出し、アパレル・ファッション業界のサプライチェーンにおける課題解決に貢献します。ソリューションの提供とともに新たなビジネスの創出を手掛け、ファッション業界の「よろず相談所」として業界全体の付加価値を高めていきます。また主軸となる横編機事業は、市場にマッチした新製品の開発、徹底したコストダウン、アパレル業界以外の新規市場開拓などの施策を通じて、横編機のリーディングカンパニーとして持続的な成長を実現してまいります。裁断機事業では昨年、性能が大幅に向上した次世代自

動裁断機「P-CAM® R」を開発しました。横編機と自動裁断機の両方を手がけているのは、世界でも当社のみです。今期より裁断機事業へ積極的な投資を行い、販売ルート及びアフターサービス網を拡充し、横編機事業に続く事業の柱へと成長させます。すでに構築されているグローバルな販売網と、自動車や医療などのアパレル以外の業界へ販路を開拓することで、将来的には世界トップメーカーを目指します。

そのためにも、新しい風を吹き込む若手社員の自律的な行動を重視し、自由なアイデアの発想やサステナブルな製品開発を促進する環境づくりに努めます。すでに若手社員による複数の社内ベンチャープロジェクトが動き出しており、今後、さらに事業化に向けた支援を行ってまいります。

このような取り組みとあわせて研究開発、人的資本などの投資を積極的に推進し、また、一方でグループ内においては徹底したコストダウンや経費削減に注力することで、企業価値の向上に努めてまいります。

株主のみなさまへ

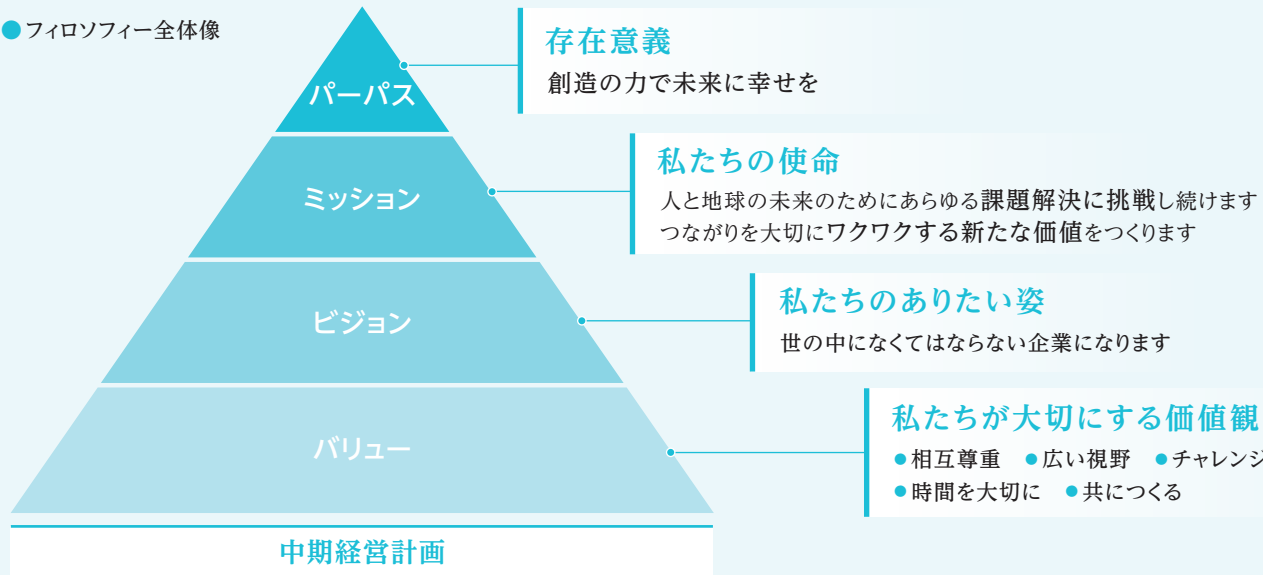
昨今のアパレル・ファッション業界は、世界の政治や経済がダイレクトに影響するようになり、不安定な状況が続いています。また環境汚染や労働環境問題など、地球規模の課題が山積みです。しかし我々は、この局面を、創造性を活かした積極的な問題解決を通して業界を変革できるビジネスチャンスであると捉えています。創業以来培われてきた創造と革新の精神を強みに、アパレル業界を含めた世界のより良い未来に貢献するとともに、世の中になくってはならない企業を目指してまいります。今後も株主のみなさまのお声に耳を傾け、社員一丸となって一層力を尽くす所存です。株主のみなさまには、引き続き当社グループへの温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特集 新中期経営計画「Ever Onward 2026」

当社は、激しく変化する経営環境に対応すべく、このたび2024年度から2026年度までの3カ年を対象とする新しい中期経営計画「Ever Onward 2026」を策定いたしました。下記にその概要をお知らせいたします。

▶ 企業理念の再定義 — 更なる発展のため、フィロソフィーを明確化 —

● フィロソフィー全体像



▶ 10年後のめざす姿 — 企業理念に基づいた新たな事業領域・内容への挑戦 —



希望と誇りをもって
生き生きと働き、挑戦し続ける



売上高	営業利益率
2,000億円	25%

▶ 新中期経営計画 4つの重点施策

経営基盤の再構築

収益の安定化と事業の成長に向けた抜本的な意識改革と社内体制・業務プロセスの刷新を断行し、持続的な企業成長に向けた経営基盤の再構築を進めます。

ソリューションビジネスの確立

ファッション業界のサプライチェーンにおける課題解決のためのソリューションを提供し、業界全体の付加価値を高めていくことを通じて、当社グループの持続的な企業成長につなげていきます。

横編機事業の再生

市場にマッチした新製品の開発、徹底したコストダウンの実行、ファッション産業以外の新規市場の開拓などの諸施策を通じ、横編機事業の持続的な成長を確実なものにします。

自動裁断機事業の拡大

機械性能を大幅に向上させた製品ラインアップを市場投入するとともに、積極的な投資により販売ルートおよびアフターサービス網を拡充し、横編機事業に続く事業の柱へと成長させます。

▶ 4つの方針

目標の実現のため、下記4つの方針についても取り組みを強化してまいります。

開発・設備投資

人的資本投資

サステナビリティ

株主還元

新中期経営計画の詳しい情報は
WEBサイトよりご覧いただけます。



▶ 数値目標

	2020年度 実績	2023年度 実績	2026年度 目標	増減率 2023・2026
売上高	244	359	550	+53.2%
営業利益	△91	4	70	16.3倍
経常利益	△72	10	75	7.4倍
当期純利益	△178	10	55	5.3倍
R O E	△18.1%	1.2%	6.0%	

株主還元

① 株主還元の方針

当社は株主に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつとして位置付け、事業の持続的発展を通じて、安定した配当を長期にわたって継続することを基本方針としています。

そのうえで、長期的視点に立った成長投資および今後の事業展開に備えた内部留保にもバランス良く配分を行ってまいります。

② 株主還元の指標（2024年度から3ヵ年）

連結配当性向：40%を目安とします。

収益力の向上につながる積極的な成長投資と財務体質の強化に努めながら、連結配当性向40%を目安に「株主配当」を行います。また「自己株式取得」については、株価水準や資金の状況、市場環境などを総合的に勘案し、時機に応じて柔軟に実施してまいります。

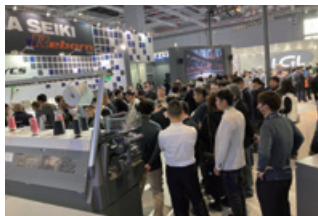
TOPICS

国内外の展示会に積極的に出展。当社製品のテクノロジーをアピールしました

海外展示会

「ITMA ASIA+CITME」(中国・上海)

2023年11月、上海で開催された「ITMA ASIA+CITME」に出展しました。当社の主力市場である中国・アジア圏のお客様が多数来場される同展示会は、数年ぶりのリアル開催ということもあり、次世代型ホールガーメント®横編機「SWG®-XR」を中心に、生産効率向上やビジネスの高付加価値化を実現する当社の製品、ソリューションを提案する絶好の機会となりました。



国内展示会

「ASM OSAKA」(大阪)

2024年2月に開催された西日本最大の工業用縫製機器展示会「ASM OSAKA」では、当社製品をフルラインアップで展示しました。裁断精度と生産性を大幅に向上させた自動裁断機の最新機種「P-CAM® R」をアピール。また、当社製品で製作したさまざまなサンプル品も展示し、当社製品の多様性をアピールのみならず産業資材など幅広い業界に訴求しました。



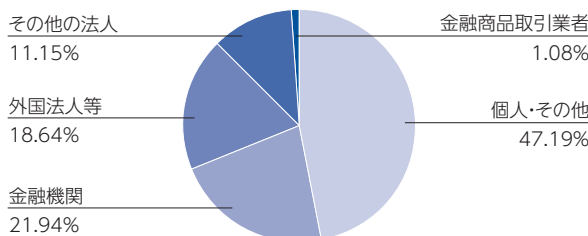
会社概要

(2024年3月31日現在)

商号 (英文表記)	株式会社島精機製作所 SHIMA SEIKI MFG., LTD.
本社	和歌山県和歌山市坂田85番地
創立	1962年2月4日
資本金	148億5,980万円
従業員数	1,346名(連結1,789名)

所有者別株式分布

(2024年3月31日現在)



ホールガーメント®とは、SHIMA SEIKIが独自に開発した世界初の無縫製編成技術を備えた専用の横編機およびその横編機で編成されたニット製品の名称です。SHIMA SEIKI、シマセイキ、SWG、SWG-XR、SDS、SDS-ONE、SDS-ONE APEX、APEXfiz、P-CAM、トータルファッションシステム、ホールガーメントおよびWHOLEGARMENTは株式会社島精機製作所の登録商標または商標です。(©2023 SHIMA SEIKI MFG., LTD.)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定株主総会	基準日 3月31日 開催日 毎年6月
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
公告方法	電子公告 下記当社ホームページに掲載 (https://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)

(ご注意)

証券会社に口座をお持ちの株主様は、住所変更の届け出や単元未満株の買い取り・買い増し等の各種お手続きに関しては、お取引のある証券会社等に直接お問い合わせください。

